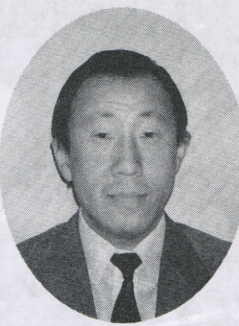


必勝・企業研究・卒業研究

工学部動力機械工学科
第二工学部機械工学科

主任教授 康井義明



望む像は、確かな基礎学力と、幅広い豊かな人間性である。専門知識が希薄では当然工学技術者の資格はない。在学中に学ぶ数々の基礎的工学を徹底的に積み重ねていく姿勢をとる以外に方法はない。

豊かな人間性は自己の資質そのものである。

在学中のカリキュラム消化はきついくけど、就職活動は大体思う通りだった。これは、ブルジョア社会のときの理工系就職神話だった。しかし現在では崩壊している。一年前迄、東海大学工学部の四年生は、自分の望んだ名の通った企業に楽に就職を決めていたが、昨年、今年は少しくらい学業成績が良くてもほとんど就職試験に落ちている。企業優位の時代である。ではこれから

の合格戦略はどうしたら良いかを考えたい。

就職に優位だから工学部に入学したというのでは足りない。理工系学生に大前提として要求されるのは、ものづくりに興味をいつも抱いている科学技術の好きな青年であり、そしてしっかりした専門基礎学力を身につけているかどうかだ。授業カリキュラムを消化して、ただ単位をとるだけの勉強では将来は開けないと肝に銘ずべきである。

企業は今、少数精鋭の採用計画をしている以上、優秀な学生の奪い合いは烈々との見方が業種職種を問わず多い。優秀な学生とは一体どういう人物であるか。企業にも種々の形態があるので一概には言えないが、企業担当者が

企業試験では一般教養と作文と適性検査それに面接が実施される。日頃新聞等を読んで社会に目を向けているかどうか、また名著と呼ばれる類の読書をしているか。若者らしい豊かな発想をもっているか。自分の適性を十分理解し自己啓発に努めているか。企業組織の一員として自覚できるか。など種々の要因をチラキして、企業は人物を評価する。

安生志向に走る傾向を一概悪いとは言えないが、常に自分のポリシーを持って事に当たって欲しい。大企業でも中堅企業でも入社して楽はさせてくれない。どの企業も昨今は経済不況で多かれ少なかれリストやリストラングスを行い、将来の明確な書き真を考えた工夫をしている。それだけに、入社してくる卒業生に対する期待は大きい。魅力ある人材の必要であつて安易な人生観・社会観をもっている人には手厳しい試験がまわっていると自覚を欲しい。

大学も四年生になると二つの大きな経験・研究をする。一つは卒業後の進路の研究(就職活動)であり、もう一つは卒業研究である。理工系専攻の学生にはどちらも必修研究科目である。卒業研究は企業研究とつながる。卒

大学院について

大学院工学研究科
機械工学専攻

主任教授 佐野妙子



現在、機械工学専攻博士課程前期(修士課程)に六四名、後期(博士課程)に二名の学生が在籍している。後期課程に学生が在籍しているのも久しぶりである。

機械工学専攻には、材料工学、熱工学、流体工学、加工工学、機械力学の五分野があり、これらの分野に所属する教員の指導の下に院生達は修士論文や学位論文を作成すべく研究に励んでいる。専攻に所属する教員の研究も熱機関、ロボットから分子

研はテーマ別分野が種々あるが、学部四年間の人間形成と機械工学者としての総合的教育の完成を目指すものである。論文完成迄のあらゆる取り組みは、その手法プロセスに於いて企業研究手法と共通している。

分野・テーマの選択・決定(希望企業への選択、研究課題の背景調査(企業の実体・環境の調査)、実験および理解の勉強(業種・職種内容の理解)、データの分析(企業訪問など

レベルでの現象の解析、生体に関する研究など幅広い。

カリキュラムも昨年から半期制が採り入れられ、多くの教員の講義を受講出来るようになった。学ぶためには大変よい環境ではあるが、それだけに、学部で十分な基礎学力と積極的に学ぶ姿勢を身につけてくることが必須である。

より高度な専門教育を受けた学生を望んでいるのは世の趨勢であるが、就職事情が悪化してきた昨年あたりから、実力を身につけなかった学生への風当たりが厳しくなったのも事実である。

意欲ある学生は是非大学院に進み種々な物事に対応出来る能力をつけて社会へと果立って欲しいし、院生は貪欲に勉強してほしい。

による職場の分析と試験傾向対策、結果と考察「自」の適性判断・評価、結論の提示「採用試験にあたる」、論文作成「入社ペーパーテスト(一般教養、専門、適性)」、卒研発表会「面接・口頭試験、卒業単位取得(合格内定)」。

メカトロニクス研究開発



イスタン技研株式会社

資本金 5,000万円

○放電加工周辺機器、型彫・ワイヤー電極
○メカトロ専用機、電子機器、金型治具、設計製作

取締役社長 河西正彦(昭和41年度機械科卒)
(イースタングループ 従業員総数2,000名)

本社 〒242 神奈川県大和市福田6-9-21 ☎0462-69-9911(代) 営業所 大和、埼玉、大阪、山形
工場 大和、山形

熱工學部門

佐野研究室

当研究室では燃焼・熱伝達に関する基礎研究を行っている。現在熱機関から排出される燃焼ガスに含まれる窒素酸化物は環境汚染物質として、炭酸ガスは地球温暖化ガスとして問題になっている。窒素酸化物低減化のために、自動車用燃料としてメタンを主成分とする天然ガスやメタノールの使用が考えられている。また、炭酸ガスフリー燃料として水素も注目されている。

しかし、これらの燃料を実際に使



用しようとする場合、さまざまな問題が残されている。

これらに関する基礎研究として、

(一) メタン、メタノール、水素の燃

焼による窒素酸化物の生成に関

する研究

(二) 窒素酸化物のプラズマによる制

御の研究

(三) メタン、メタノールの着火性能

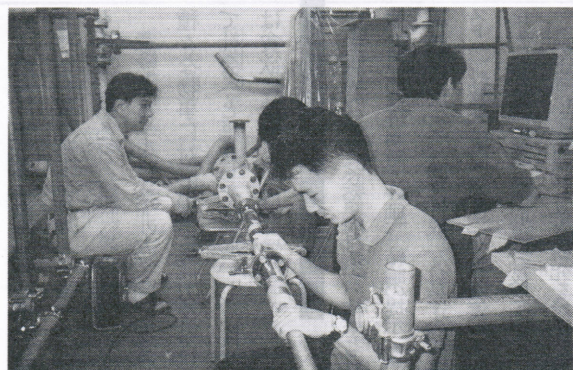
に関する研究その他

(四) 熱交換機の熱伝達に関する研究

等が行われている。

村上・前田研究室

当研究室では騒音制御の基礎研究として、従来から続けてきたマフラーの性能、管路内で発生する気流騒音に関する研究を行っている。また消音器を実機のエンジンに取り付けたときの消音性能の研究も計画している。更に、音響インテンシティ法による音の可視化などのテーマに取り組んでいる。本年度は大学院二年生の蒲澤君、小坂橋君、一年生の片居木君そして卒研生七名のメンバーで実験室を構成しており、週一回の院生との検討会、年数回の卒研生の中間発表会を行っている。又、



いくつかの企業およびタイ国モンクット王工科大学機械工学科と共同研究を推進しており、国内・国外において自動車をはじめとする機械騒音の低減の一助となるよう、新技術の開発と技術者の指導・育成に務めている。又、コンパや恒例になった夏期ゼミ旅行を行い、毎年実験室を盛り立てて、楽しく卒研を行っています。

荏原インフィルコ・エンジニアリング・サービス株式会社は、平成6年10月1日
荏原エンジニアリングサービス株式会社
に社名を変更しました。

私達は、明日の地球環境を考えます。



荏原エンジニアリングサービス株式会社

〒108 東京都港区港南2-13-34 TEL 03-5461-5111

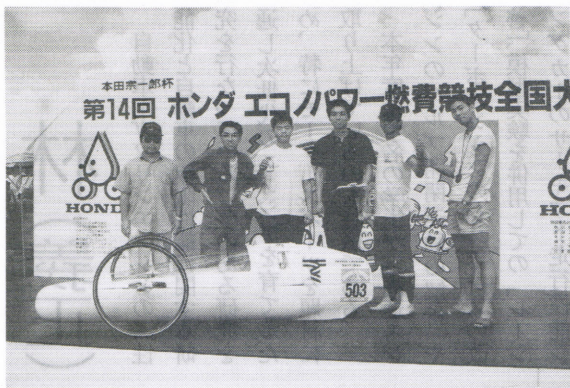
維持管理・補修・水処理薬品・巡回点検・建設工事・その他関連業務

熱機関・輸送機械部門

高本研究室

地球環境・地域環境問題に大きく関わりのある熱機関の省エネルギー(熱効率の向上)を主とした研究と脱化石エネルギーの観点からの研究との両面から環境問題に取り組んでいる。

省エネルギーを目的とした研究では小型ガソリンエンジンを改造して熱効率を向上させ、その機関を省エネルギーに搭載して燃料消費性能を調べている。毎年開催される燃費競技大会にも参加して好成績を上げている。



また、熱機関の環境に関わる問題として騒音問題が挙げられるが、特に、排気騒音については騒音の低減によって機関性能に影響をおよぼすので、この辺りの研究も進める予定である。

脱化石エネルギーの観点からの研究として、総研のプロジェクト研究であるソーラーカーの試作にも参加し、機械部門としてボディ・シャシ等の製作を担当している。

小林・押野谷研究室

「低速域での自動車の転がり抵抗の挙動」、「車両の回転部分相当質量の測定法」などの自動車の運動性能に関する研究、「サスペンションのアクティブ制御」など車両の乗り心地に関する研究および「磁気浮上制御」、「リニアモーター輸送システム」など次世代の輸送機械に関する研究を行っている。

運動性能に関する研究では、実車の四分の一の相似模型車を用いてハメートルの走行路で惰行させて実験を行っている。模型車の走行距離を電気的に検出し、速度、加速度を計算しながら詳細な運動性能解析を行う手法を開発している。乗り心地に関する研究では、トラクシートのサスペンションを対象にして、体重や路面の変化によらずに常に快適性を得るための制御方法を検討している。次世代の輸送機械に関する研究では、主に電磁力を利用した低騒音、低エネルギーな車両に関する基礎的な実験を行っている。



内外国の特許・実用新案・意匠・商標・サービスマーク・鑑定 等

発明・ノウハウの相談受付

実用新案は出願から6ヶ月で登録(無審査)

岩堀特許事務所

弁理士 岩堀邦男(66年機械卒)

〒107 東京都港区赤坂4-3-1 共同ビル赤坂513号
地下鉄赤坂見附駅・赤坂駅下車3分

電話東京 03-3587-1625

林(義正)研究室

自動車用ガソリンエンジンの高性能化と自動車の極限性能に関する研究を行なっている。夢のある研究を通して次世代のエンジニアを育てるため、特にモータースポーツを題材に取り上げているのも特徴である。

本年度は十名の学生が「高速エンジンのバルブ開閉運動の解析」や「ターボエンジンのレスポンスの改善」、模型実験を併用しての「レーシングカーのサーキット走行性能シミュレーション解析」などの卒業研究に取り組んでいる。これらの研究は自動車雑誌にも紹介された。



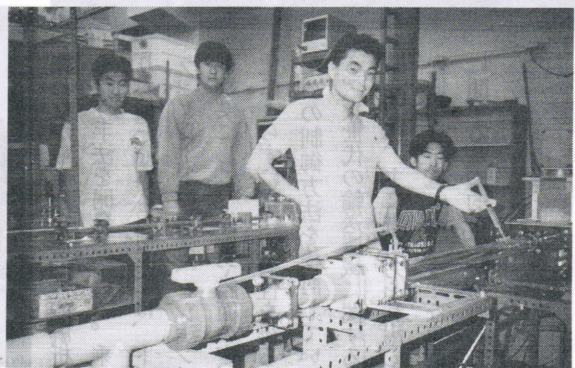
当研究室は今年から開設されたが、現在、一五〇キロワットの動力計や排気分析計の据え付け工事が進行中である。将来はシリンダー内での燃焼や吸排気の動的な解析をテーマに取り上げる予定であり、理論と実験に裏付けされた研究成果が期待される。

実社会に出て即戦力となるように、人間的な面も含め厳しいゼミが続いているが、皆は一つと創造性を発揮しながら研究に取り組んでいる。

田中・鈴木(六郎)研究室

当研究室では、ジェットエンジンや火力発電の主機関であるガスタービンの構成要素としてのコンプレッサやタービンの性能向上と安全性・信頼性向上を主な目的として、次の項目について研究を行っている。

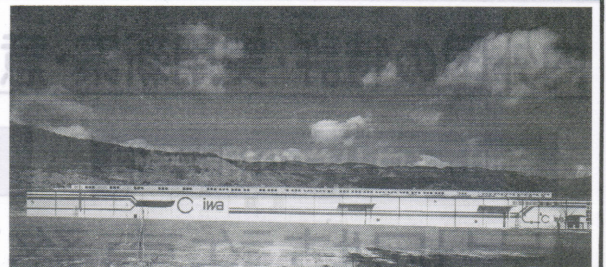
フラッタ抑制効果に関して、
(一) 翼列の不均一化によるフラッタ抑制効果に関する研究
失速フラッタ時の翼面上の流れの性質を調べる目的で、
(二) 剝離を伴う翼列翼の振動時における非定常空力特性
翼面における剝離・再付着流れの



性質を調べる目的で、
(三) 田弧前縁を有する平板翼の剝離泡に関する研究
また剝離・再付着流れの研究の一環として、バイオレオロジの観点から関心の持たれている
(四) 絞り部を有する円管内の壁面圧力変動とその周波数特性
産学共同研究として、
(五) 内向き流れの整流装置の開発
についても研究を行っている。

Ooiwa

環境クリエイトに取り組む総合エンジニアリング企業です。



株式会社 大岩機器工業所
〒105 東京都港区新橋2丁目5番6号(大村ビル) TEL.(03)3503-0635

流体工学部門

飯島研究室

当研究室では主に吸気二弁式層状燃焼機関のシリンダ内のガス流動と燃焼に関する研究およびコンピュータによる内燃機関の吸排気弁制御に関する研究などを行っている。

吸気二弁式層状燃焼機関は、スワールやタンブルと層状燃焼を組み合わせ、有害ガスの排出低下と燃焼向上の点から最近非常に注目されている。そこでこれらの内燃機関に対して、より低公害で、燃費の良い燃焼条件を得るための基礎研究として、混合気中に微粒子を入れ、その粒子の軌跡をピストン下方およびシリンダ側面から高速度



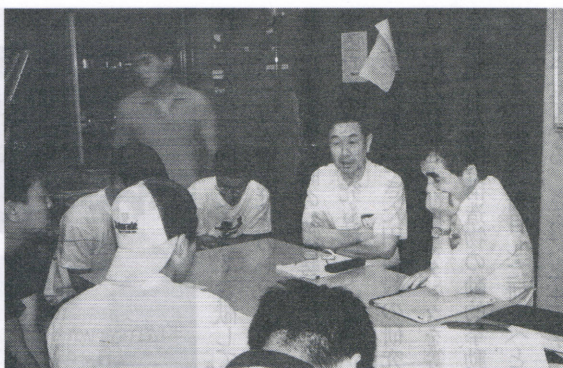
ビデオカメラで追跡することによりスワールやタンブルのより詳細な特性を調べている。また、熱線を使った濃度計を試作し、二つの弁から入った気体の混合状況を調べる研究も行っている。

コンピュータによる内燃機関の吸排気弁制御とは、コンピュータと油圧サーボを使って一サイクル内のバルブの変位を自在に制御し、負荷や回転数などの運転条件に対応して、最高の出力または燃費を得たり、あるいはノッキングなどの発生もこの弁変位制御で防ぐことができるのである。

谷田・弓野研究室

今年度は次のようなテーマの卒業研究を行っている。

- (1) 脈動流によるガス拡散に関する研究
生物の呼吸では往復する流れ(脈動流)による巧妙で強力な拡散作用がある。これによって効率のよいガス交換が行われている。その機構を解明するために、二次元鼻口モデルに脈動流をつくり、流れの可視化、流速の測定、トレーサガスの濃度測定および大形計算機による数値計算などを行って調べている。
- (2) 植物種子の飛翔に関する研究
楓や松の実の風に乘って広範囲に



分散し子孫を増やしている。その飛翔の様子を可視化することによって、飛翔時の落下速度、回転速度およびその姿勢などを調べている。

- (3) 低流量の測定に関する研究
微少な流量をいかに正確に測定するか、その測定法を確立しようとしている。
- (4) 代替燃料機関に関する研究
化石燃料に代る機関について調査し、実際に模型エンジンを試作・運転を試みる。

- (5) 多段軸流圧縮機的设计製図
小型ジェットエンジン用の多段軸流圧縮機的设计製図を試みる。



東芝タンガロイ株式会社

〒210 川崎市幸区塚越1-7 ☎044(548)8704

粉末冶金製品、超硬工具、セラミック製品の製造及び販売

企業概要：創業昭和9年 資本金104億円 東証一部上場 売上高447億円

円能寺研究室

本研究室では、噴流が物体表面に衝突する衝突噴流に関する研究および物体まわりの流れの可視化に関する研究を行っている。

衝突噴流は副燃焼室付ガソリンエンジンのトーチ噴流やディーゼルエンジンの燃料噴射をはじめ、ガラス・製紙・繊維・電子部品などの工業における加熱・冷却・乾燥・除塵など多くの分野で利用されているが、衝突噴流の流れの性質がいまだ十分明らかでないため経験的に利用されているのが現状である。そこで本研究では衝突噴流の壁面上における流速、乱れ、圧



力およびせん断応力等を測定し、それらの分布におよぼす噴流速度、衝突距離および衝突角などの影響を明らかにする。

次に、高速走行中の自動車や航空機は抗力を受けて動力を浪費し、高層ビル街には強風が生じて大きな問題となっている。

これらの問題を解決するためには流れの可視化を行ない、物体の形状とそのまわりの流れとの関係を明らかにする必要がある。本研究では円柱、角柱、自動車および飛行機の模型などのまわりの流れの可視化と抗力測定を行っている。

材料力学部門

康井・森山研究室

航空機の発達に伴い軽量で高強度の素材が開発され、とくにFRPはその優れた力学的特性により、代表的な軽量構造材として使用されている。しかし航空機等では空力加熱の厳しい温度環境下で使用されるため、熱応力による破損についても十分な検討が必要である。そこで当研究室では一昨年度よりFRP平板の熱座屈特性に関する研究を精力的に行っている。また軽量材の車両への応用は目ざましい発展を遂げ、走行



性や安全性の向上に大きく貢献している。ハニカム構造はその一つであり、我々は車両衝突時の緩衝装置に応用するための基礎研究も続けている。

従来実施してきた円筒殻の研究は、圧力容器および燃料タンク等を想定した薄肉構造物の動的挙動を、カオス振動に着目した研究へと発展させている。さらに生体工学はこれまでの解析技術を利用して、骨および骨接合用プレートとの強度に関する研究を積極的に行っている。



株式会社

マツボー

東京都港区港南1-6-34 東京日産港ビル 〒108 ☎03-5461-7021(大代)

“情報と技術のプロフェッショナル集団”

— 商社機能とエンジニアリング機能を併せ持つ
マーケットチャレンジ型企業の専門商社です —

卒業生 伊藤菊男、三橋浩子 他5名 海外事務所 デュッセルドルフ、ニューヨーク、サンノゼ

粕谷研究室

最近、近代工業の躍進的發展に伴い、高速運転、経済的設計など、多くの観点から構造の軽量化が強く要望されるようになってきた。このような立場から、複合材料は、軽量構造材料としてその特色を活かし、航空機、自動車、車輛、船舶、建材などの構造物のほかにも日用品などにも実用化され、あらゆる分野から注目を浴び、工業用材料としての地歩を固めてきた。

このような複合材料のうちでも、航空機および自動車などにおいては、構造の軽量化をはかることが極めて重要であり、従来の金属材料に代って、今後は高比強度、高比剛性の先進複合材料よりなる積層複合構造方式が採用されるようになり、目下世界的に注目を浴びている。

そこで当研究室においては、積層板、ハニカムサンドイッチパネル、積層殻などの複合材料積層構造の座屈現象に及ぼす考慮すべき諸因子を明らかにし、今後発展の予想される航空機、宇宙機、自動車等の軽量複合構造への応用に際し、その合理的な設計法の確立をめざしている。



材料加工部門

林(守仁)研究室

スペースシャトルやリニアモーターカー、レーシングカーや大型タンカー等、動力・輸送用機械はすべて「材料」により構成されている。近年では複合材料やセラミックスといった、様々な機能を有する「新素材」を利用した機械が開発されてきた。

しかし、「材料」の基本的特性がわからなければ、これら機械や構造物の設計や加工はおこなえない。そこで、本研究室ではこれら実用機械部材への利用を目的とした新素材の開発ならびに材料の信頼性に関し、以下のような研究を行っている。



- ①自動車や航空機用エンジンなどに使用する耐熱構造材料の高温強度および熱疲労。
- ②熱交換器や機体構造などに使用する耐腐食構造材料の応力腐食割れおよび腐食疲労強度。
- ③輸送機器用軽量構造材料の破壊力学的研究。
- ④セラミック材料の破壊力学的特性ならびに評価法に関する研究。
- ⑤次世代航空宇宙用セラミック強化金属基耐熱複合材料の開発。
- ⑥産学共同による実用ピストンリングの耐久性。



—音と振動と熱を科学する—

自動車排気系製品・機能製品の研究・開発・製造

日新工業株式会社

取締役社長 加藤友彦

本社
テクニカルセンター

〒242

〒329-44

神奈川県大和市上草柳172

栃木県下都賀郡岩舟町1941-1

TEL 0462(64)1221

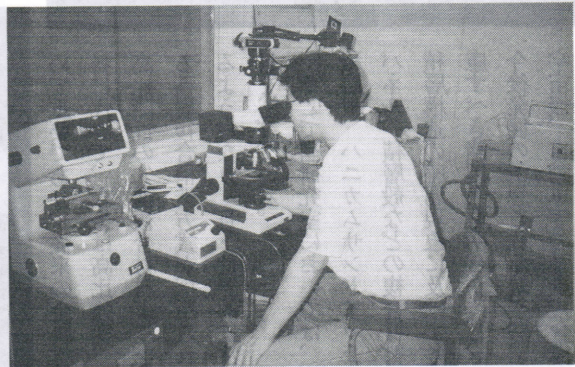
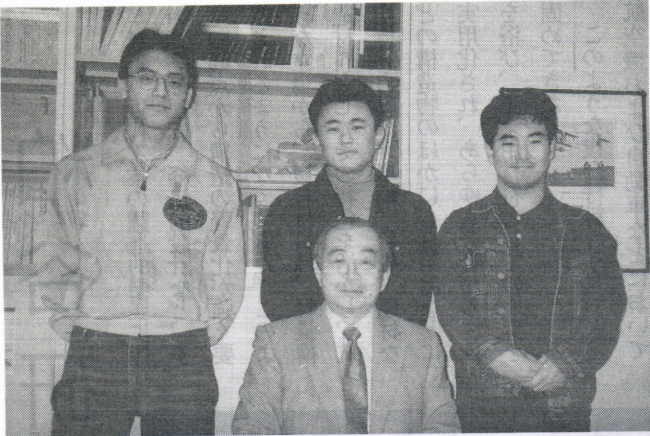
TEL 0282(55)6986

福迫研究室

材料・加工研究室の一翼を担う私

たち福迫研の今年度の構成は、学部生三名である。現在の研究活動は従来の研究テーマの延長線上にあるが、新しい発想も順次加え、一研究テーマは担当者一名主義を続けている。その概要は次のようである。

(一) 溶融金属・合金の凝固過程に伴う動的粘度変化の測定。Sn-Pb系合金の凝固に伴う固相率と粘度増加の関連性を調べている。即ち結晶粒の構造・大きさが粘度に及ぼす影響を定量的に確立するため、実験結果と理論的コンピュータシミュレーション



の結果の両面から検討している。

(二) 自動車等の変速機内のシンクロナイズリング用高力黄銅材の開発(新添加剤と鑄造組織・機械的性質・耐摩耗性の関連性など)を続けている。

(三) 車輛用アルミニウム合金鑄物は軽量化要求で更なる品質向上と薄肉化が求められており、薄肉化の限界と品質との関連性及びその品質評価についてのデータを得る実験を行っている。

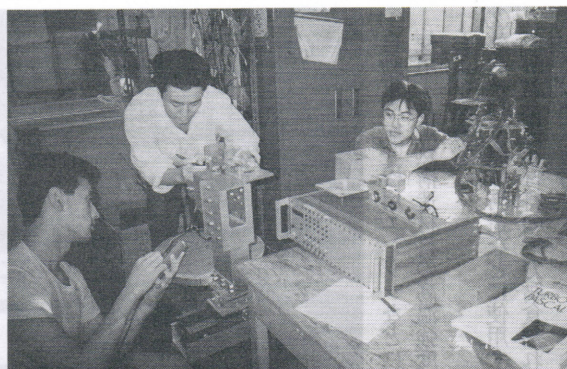
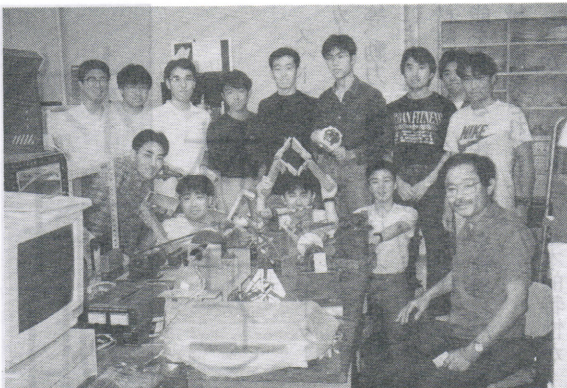
(四) 発泡ポリスチレンの消失模型による鑄造法の方策設定の基礎研究(湯流れと充填過程)。

機械力学・メカトロ工学部門

鈴木(曠二)研究室

機械の運動およびメカニズムについて、院生四名と卒研究生十名が次のようなテーマに取組んでいる。

- (一) 新しいタイプの等速ユニバーサルジョイントを試作し、実験と計算によってその特性を明らかにする。
- (二) 全方向への移動と回転を自在に行う車両の操縦方式の研究。パソコンを介して模型車両を操縦する。
- (三) 車椅子の走行特性を、理論計算および走行実験により理解する。
- (四) 「高精度」とか「計算ずく」等



ではなく、「だいたい」とか「そこそこ」を指向する技術を探るためにある範囲を大体まんべんなく動き回る移動ロボットの研究を行う。

(五) ノートのとりやすいOHP、回しても像は回らないOHPの開発。

(六) 旋回流、収束流等の中を飛ぶ航空機について、その特異な応答や操縦法、エネルギー変化等を説明する。

や、ハードと思うが、一年をかけてなしとげることにより、社会に出て通用する力をつけて頂きたい。

医療用プラスチック製品製造販売・医療器具製造販売
健康を創造する



ジーマ株式会社

代表取締役 和田英孝 (工学部S46年度卒)

TEL (0538) 42-5951

〒437 静岡県袋井市小山1707番地の1

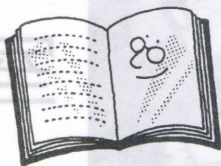
FAX (0538) 42-5595

川島研究室

メカトロニクス技術は我々の身の回りにある多くの製品あるいはそれらの製造技術に使われている。この技術はこれからも大いに発展し、色々な分野に導入されて行くものと考えられる。当研究室では、メカトロニクス技術の基本を学ぶとともに、次のような二つのテーマで研究を進め、これにメカトロニクス技術を適用していく。一つは、推進用エネルギー源として期待される金属水素あるいはダイヤモンドなど工業的に有用な材料を生み出す超高压発生技術の開発、もう一つは超微細加工



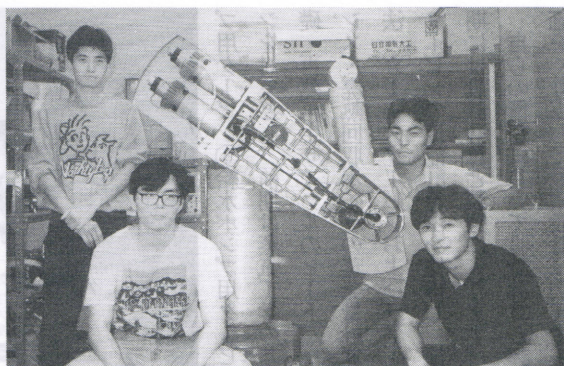
やマイクロマシンの開発に不可欠となる原子分解能を持つ走査トンネル顕微鏡 (STM) の精度向上と STM による表面評価技術の開発である。先端技術に興味があり、且つこれを身につけたいと思う熱心な学生が集まることを期待している。



中川研究室

当研究室ではマニピュレータを高速・高精度に制御するための研究を続けています。人間にもつとも似た形のロボット、これがマニピュレータですが、機構の著しい非線形性のため、制御には多くの困難な課題があります。

なかでも、マニピュレータ機構の正確な動力学モデルの作成が重要なものです。このためには、実際の装置を対象として、リンク機構の慣性行列などのパラメータを同定する方法の確立が望まれます。これが現在私たちの研究テーマとなっているも



のです。特に、マニピュレータで多数使用されている歯車のような伝達部門を含むシステムのパラメータ同定を研究しています。

テーマの遂行には、リンク機構の動力学と、一般的なパラメータ同定の解析手法の十分な理解が必要です。また、計算機による機構の制御と計測に高度の技術を駆使することになります。したがって、この研究に参加することによって、広い範囲の新知识を得るとともに、ロボットの動作を自由に制御する喜びを味わうことができるでしょう。

プラズマアンドテクノロジー

時代を先取りしたムラタの溶射技術



村田ボーリング技研株式会社

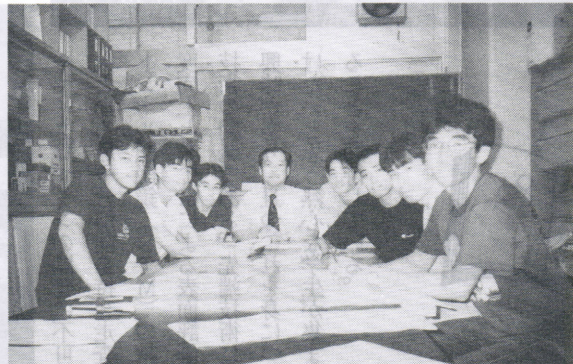
本社 ■ 静岡市北丸子1-30-45 電話 (054)259-1251

川上研究室

本年度の我研究室の卒研究生は八名である。それぞれ個性豊かな仲間達であり、「よく遊びよく学べ」の諺の通り日々卒論の完成に向けて努力している。この卒論の内容をテーマ別に紹介する。

(一)平板の振動特性に関する研究。
平板の境界条件として周辺を点支持または点固定した場合の四角形平板の固有振動特性を「実験モーダル解析」という手法を用いて固有振動数と振動モード形を明らかにしている。

(二)ダンパの振動減衰性能に関する研究。
振動を減衰させるためには振



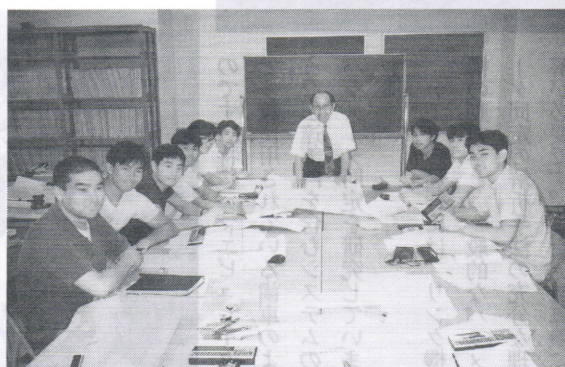
動のエネルギーを何らかの方法で吸収させなければならぬ。この方法として流体を用いたダンパが多く用いられる。研究ではシリンダ・ピストン型のダンパを試作して、流体をピストン形状によるダンピングの性能について実験的研究を行っている。

(三)ショックアブソーバのエネルギー吸収に関する研究。
自動車に装着されているショックアブソーバは有名である。このショックアブソーバと同等品を試作して衝撃エネルギーの吸収性能について実験を進めている。以上の研究の成果を多いに期待している。

設計製図部門

福垣研究室

当研究室の卒研究生は九名で三人ずつの三グループに分れて蒸気タービンの設計に取組んでいます。小型蒸気タービンは産業用・船用の分野で発電・ポンプ駆動・コンプレッサ・駆動等に用いられる融通性に富む原動機でディーゼル機関に比べ小型軽量で信頼性が高く保守費が少い利点から広く採用されています。今年度はV L C Cと呼ばれる三万トンクラスの大形タンカーに搭載される①発電用混圧タービン②貨物油ポン



プ用タービン③給水ポンプ用タービンを対象とし、前期は蒸気工学の基礎・再熱再生サイクルのヒートバランス・廃熱回収ボイラの蒸気量計算法・カーチススタービンおよびラトナービンの性能計算法を修得し、後期には設計計算と製図に入ります。自らの構想に基いて設計計算と評価をくり返して最適設計に到達するという設計の苦労と醍醐味を味い、最後に論文をまとめる経験は実社会で役に立つものと期待しています。

時代の呼吸に応える技術

時代にフィットした空気を。私たちはさらに快適な都市環境をデザインしてゆきます。

東洋熱工業株式会社

〒104 東京都中央区京橋2の5の12
TEL 03-3562-1351

斎藤研究室

本年は大学院生一名と、総員五名の小人数で、ガスエンジンの運転試験を行う。来世紀の石油資源の枯渇を予測して、現在自動車用等にガス体燃料の使用が促進されてきている。ガス体燃料としては、地球上に二〇〇兆立方メートル以上の膨大な埋蔵量のある「天然ガス」を初め、石炭のガス化による「石炭ガス」等の化石エネルギーのほか、地上に太陽の恵みで生育する植物類による「バイオガス」等多くの種類の種類があり、いずれもエネルギー源として経済性、安全性が技術上からも確立されている。しかしガスエンジンはガソリン、



ディーゼルと比較して、研究解析面で未知の分野が残されており、文献等も僅少である。今回の実験では、供試機関として三シリンダ実用機関を使用し、
一、使用燃料による性能（ブタンプロパンガス等を使用する）
二、空気過剰率による性能
三、機関圧縮比による性能
等を各負荷状態で実測し、各クランク位置での燃焼割合とNOx発生率との関係、各燃料ガスのメタン度と異常燃焼との関係等の諸問題を解消し、今後のガスエンジンの性能向上に役立てたいと念願している。

第二工学部機械工学科代々木校舎

材料工学部門

康井・森山研究室

当研究室では昨年度より、薄肉構造を対象とした3次元有限要素法による応力解析を行っている。薄肉構造は航空機の軽量化材として開発されたハニカム構造（蜂の巣構造）を想定しており、この構造はセル軸方向に圧縮荷重を受けるとはば一定荷重値を示す領域が存在する特徴をもっている。この特性を利用すれば、広範な領域の衝撃エネルギーを効率よく吸収できる緩衝装置を実現すること



も可能である。このような3次元構造の有限要素法解析を行う場合、対象領域を3次元要素に分割しなければならない。解析を効率よく遂行するためには、自動要素分割プログラムの作成が不可欠な要件である。また膨大な解析結果を有効に活用するためには、データの表示および整理にも工夫が必要である。そこで得られた結果のデータベース化にも積極的に取り組んでいる。

精密加工と生産性の向上をめざして...

makino
Seiki

立形マシニングセンタ, NC立フライス盤, NC工具研削盤

牧野フライス精機株式会社

本社：〒243 神奈川県愛甲郡愛川町中津4029

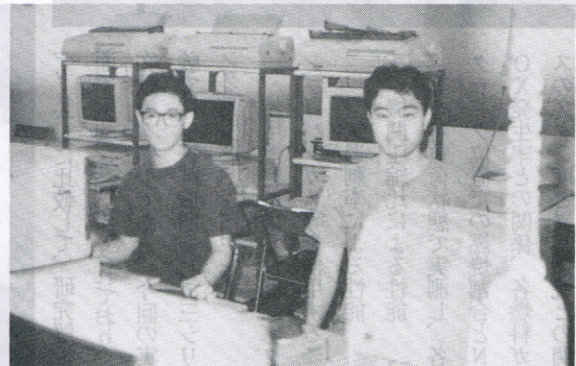
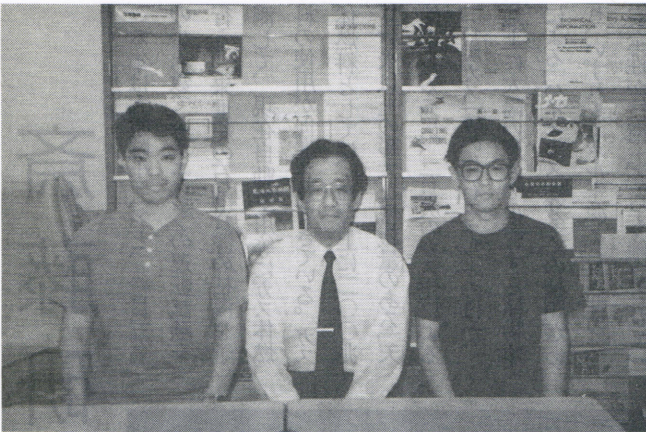
電話 (0462) 85-0446 (代) FAX (0462) 86-6032

工場：厚木・菊川

● 本 社 営 業 部： ☎ (0462) 85-5351 (代)
● 厚 木 営 業 所： ☎ (0462) 85-5351 (代)
● 東 京 営 業 所： ☎ (03) 5702-6008 (代)
● 大 阪 営 業 所： ☎ (06) 444-0591 (代)
● 名 古 屋 営 業 所： ☎ (052) 582-1721 (代)
● 静 岡 営 業 所： ☎ (0537) 36-5311 (代)

粕谷研究室

宇宙航空機構造では、比強度、比剛性の高い複合材料が、広く用いられるようになってきた。従来の金属材料については、材料特性データにも富み、永年構造材料にも使用されてきた実績も蓄積され、それらに基づく設計基準も整理され、航空機等の安全性、信頼性の向上に寄与してきた。しかし、炭素繊維強化プラスチックなどの先進複合材料については最近開発されて歴史も浅く、一次構造部材に用いる気運もあるが、その構成材の積層、製法に多様性があり、構造解析の困難性の他に材料特



性のデータの整備も不十分であり、その設計基準を整理する必要がある。

そこで当研究室においては、このようにいまだ十分検討されていない複合材料積層構造について、パーソナルコンピュータによる簡易構造解析法を開発し、設計基準の確立をめざしている。



林(守仁)研究室

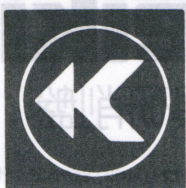
航空機を代表とする機械構造は金属材料をはじめ各種材料が多様されている。これらの材料は、長期間使用している最中、金属疲労などの劣化が起り、使用に耐えられなくなる。そのまま放置しておくと、破壊して事故につながる。

航空機などの製造に当たっては、その設計初期から、材料劣化に対する対策が必要であり、また、これらの機械の使用中の点検と整備を適切に行わなければならない。そこで、このように構造の信頼性を確保するには、材料の劣化に対し、従来とら



れてきた安全寿命設計と、フェイル・セーフ設計、および最近発展してきた損傷許容設計などの手法がある。

本研究室では、それらを理解すると同時に、まずその基本となる破壊力学の手法を学ぶ。そして近年問題となっている腐食環境中における疲労亀裂の進展現象を調べ、設計に必要な知見を探究する。



KANOMAX

日本カノマックス株式会社



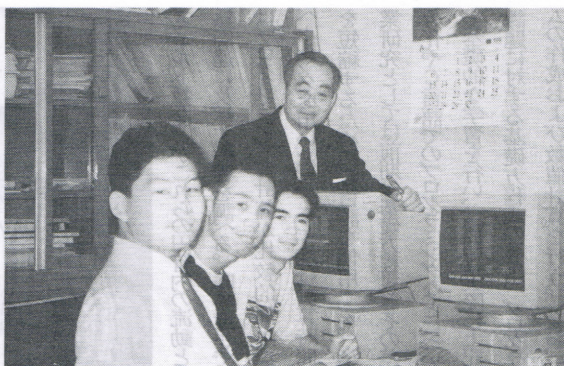
☐本社 大阪府吹田市清水2番1号(〒565) TEL. (06)877-0444 FAX. (06)879-2080
☐横浜営業所 横浜市西区戸部本町38-2(〒220) TEL. (045)314-1040 FAX. (045)314-1355

計測・制御

福迫研究室

第二工学部における福迫研は新材料及び先端的加工技術の開発に關し実験的研究と最近開発されたホットなトピックスの技術成果の文献調査とを行っている。

過去において前者に属する課題には高力黄銅鑄物のミクロ偏析、給湯器用温水制御弁の開発(卒研生の勤務先の仕事)があり、後者に属する課題にはブルガリアの開発になるセンター・プレッシャプロセス。米国の開発になるCLA・CLV精密鑄造法。溶湯ジェット形態とダイカスト品質などがある。



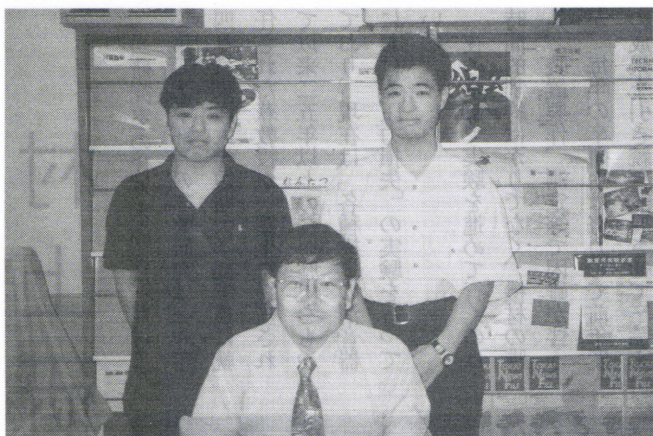
最近耐摩耗銅合金について調べている。即ち九十年度はJIS規格合金の耐摩耗性結果を解析した。九一年度は有望な新合金を溶製し、ミクロ組織と機械的性質の関係を調べ、九二年度は更に性質良好な合金成分について、効果が期待される微量添加元素の効果を調べた。九三年度は開発合金と米国版「エンジニアリングアロイ」掲載合金とを比較するための文献調査を行った。本年度は引続き文献調査を行うとともに、開発合金の耐摩耗性試験結果について調べる予定である。

北澤研究室

当研究室は材料力学・特に各種の断面形式を有する短柱鋼管の局部座屈強度に關する基礎的な実験研究を行っている。

現在、鋼管は構造物の基本構成部材として幅広く使用されており、その設計手法・設計図表等が提案されている。しかしながら、種々の使用条件に対応できる充分な真の強さを求めるために利用できる設計データが不足している。

例えば、構造物の軽量化や構造上の必要性から種々の形状の開口を有する場合や同時に二つ以上の荷重が



作用するような複合荷重問題および開口を有する構造物の複合荷重問題等において、座屈強度を求めるための設計資料はまだ充分であるとは言えない。

そこで、当研究室では、種々の形状の開口を有する角形短柱鋼管(有孔角形短柱鋼管)の、圧縮荷重の他に曲げ等が同時に作用する複合荷重下における局部座屈問題について、実験的に座屈強度に影響を及ぼす主パラメータの確認と、単純化した真の座屈強度を求めるための系統化した設計式の確立と設計図表の提案をめざしている。

自動機・パーツフィーダー

自動化設備のトータルプランナー

関東電子株式会社

Head Office
Yokohama Office

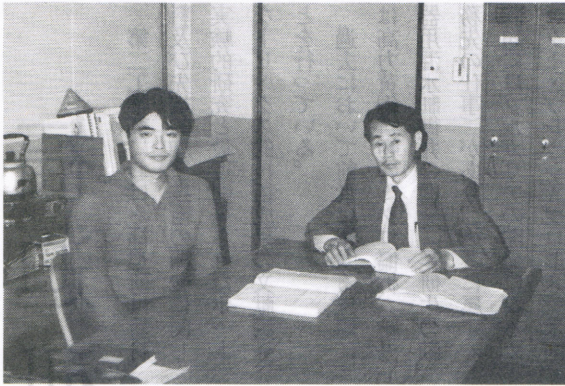
千葉県長生郡長南町市野々1648
横浜市磯子区中浜町14-4

TEL 0475-47-1188
TEL 045-761-4841

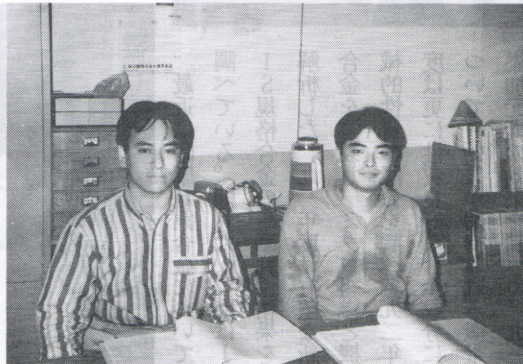
専務取締役 関 忠好(昭50年卒)

熱・流体工学部門

飯島研究室



近年コンピュータによる流体工学の数値解析が非常に活発に行われるようになってきた。特に最近ではパーソナルコンピュータの発達が進み、それを使った数値解析も盛んになっている。ところで、近年管内乱流についても、 $k-\epsilon$ モデルによる解析が行われているが、その殆どは定温度場における管内流の場合である。そこで本研究では、パーソナルコンピュータにより、低レイノルズ数における未発達領域を含む円管内の流れ場や温度場、また乱流エネルギー分布などを $k-\epsilon$ モデルを用いて解析し、レイノルズ数、ヌセルト数などがこれらの円管内の流動と熱伝達に及ぼす影響を調べる。昨年度まではプログラミングと計算が比較的簡単なベージックを用いたが、今年度は計算時間を短縮するためにC言語を使用する。卒業研究としては前期は基礎方程式とその差分やC言語でのプログラミングなどについて基礎的な学習を行い、後期は実際に上記課題に対する基礎方程式の導出、プログラムの作成および数値計算を行う。なお、得られた速度場や温度場等の数値計算結果は理解し易いように二次元あるいは三次元図形で表示することを試みる。



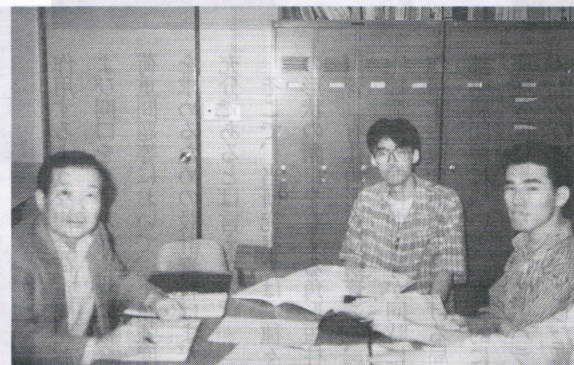
ヌセルト数などがこれらの円管内の流動と熱伝達に及ぼす影響を調べる。昨年度まではプログラミングと計算が比較的簡単なベージックを用いたが、今年度は計算時間を短縮するためにC言語を使用する。卒業研究としては前期は基礎方程式とその差分やC言語でのプログラミングなどについて基礎的な学習を行い、後期は実際に上記課題に対する基礎方程式の導出、プログラムの作成および数値計算を行う。なお、得られた速度場や温度場等の数値計算結果は理解し易いように二次元あるいは三次元図形で表示することを試みる。

村上研究室

当研究室の代々木校舎における

(第二工学部)の卒業研究は一昨年四月に東海大学短期大学部学長に就任された萩教授が一期生を担当されて以来二五年以上の長い歴史をもっており、現在は「各種構造の消音器における圧力損失」の実験を行っている。

夜の学部で実験を進めて行くのは時間的制約ばかりでなく、機材の購入、装置製作、測定等で困難が伴うが、毎年の卒業生は努力して前年度の成果を引き続き発展させて卒論をまとめてきた。



近年はテーパ管付き消音器の圧力損失のデータをとっており、その整理、グラフの作製等にはげんでいる。

代々木校舎の実験室だけで積み上げたこれらの成果は二度学会に発表している。今年度は尾管形状の変化についても装置製作と実験を行う予定で、大いに盛り上っている。

最後に、諸先輩のご活躍を祈念し、後輩へのご声援を御願ひする次第です。

研究室

あらゆるニーズにお応えする鋭角の頭脳集団!!

solc

株式会社ソイック

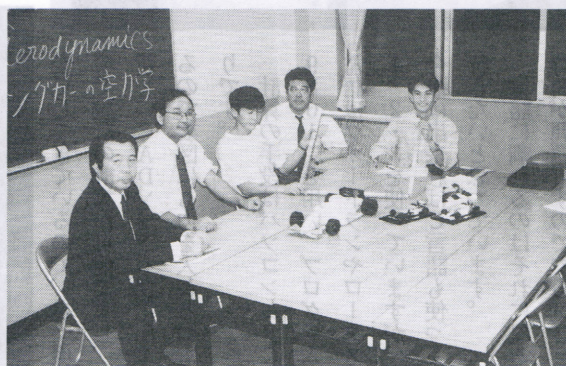
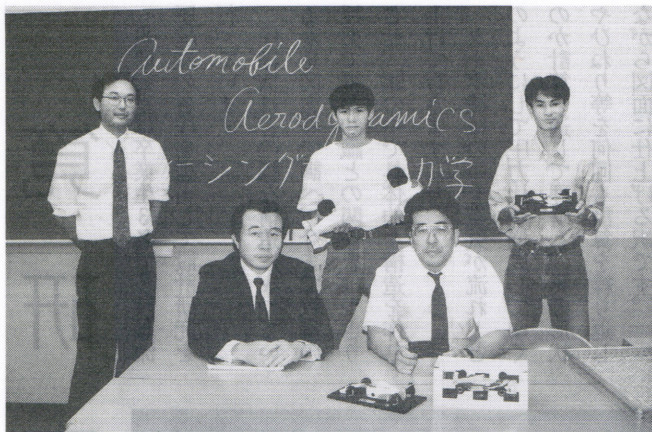
代表取締役 山野井恒雄

- 情報機器システムの調査研究及び開発受注
- アプリケーションソフトの開発及び運用
- オンラインリアルタイム アプリケーションシステムの設計受託
- 制御システム(電力・計測・データ通信等)の開発
- 各種ミニコン使用システムの開発

〒150 東京都渋谷区恵比寿西1丁目33番15号 E N代官山ビル TEL (03) 3780-5811 (代) FAX (03) 3780-5819

青木・岡永研究室

当研究室は流体工学を中心とした研究を行っています。流体工学と言ってもその研究分野は多岐にわたっており一言ではとても説明しきれませんが、ようするに機器の内部あるいは外部の流れがその機器の性能にどのように影響を与えるのかを調べる学問です。従って流れ場の把握が必ず必要になります。この流れ場の解析には理論的、実験的およびコンピュータを用いた研究などがあります。当研究室では、これらの解析手法を用い時代に即した工学的に興味ある問題に対してフレキシブルな研究



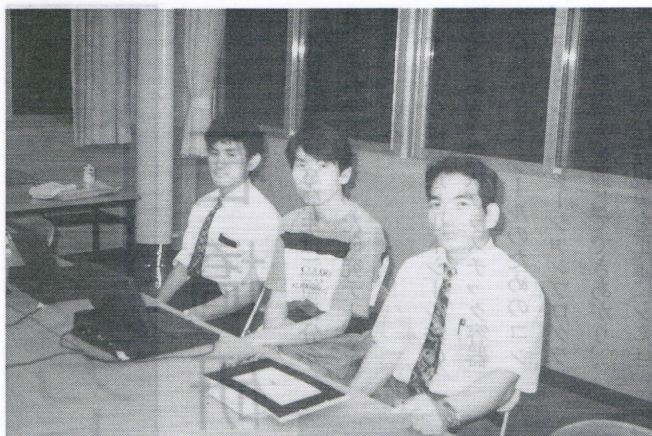
を行っています。また当研究室の特徴は流れ場の解析に流れの可視化を必ず用いていることです。流れの可視化を行えば「百聞は一見に如かず」のように複雑な流れや温度場の現象が一目瞭然になります。例えば近年の卒業研究テーマをあげると「可視化用風洞の製作と物体まわりの流れの可視化」「F1におけるエアロダイナミックス」などがあります。研究は大変ですが興味を持つと学生の能力は素晴らしいものがあります。期待したいものです!

円能寺研究室

本研究室ではコンピュータによる流れの数値計算と題し、数値流体力学の計算を行っています。

数値流体力学は、流れの支配方程式を数値的に解いて、流れをコンピュータ上に再現し、解明するものであり、今やハイテク技術の一つに挙げられている。

これによれば、従来の解析解中心の理論的研究や実験的研究では流れの再現や測定が困難であった流れについても解明が可能となるばかりでなく、研究や開発におけるコストの低減および期間の短縮が図られる。



しかし、流れを数値解析するためには、実際の流れの近似やモデル化を行い、数式で表す必要があるが、これらの方法がまだ確立されていないため、現在は試行錯誤しなければならぬ段階にある。

そこで、本研究では種々の内部流れや外部流れについて数値計算を行い、それらの流れに最適な近似法や流れモデルを見いだすための研究を行っている。

ハイテクフロンティア

タンガロイ精密株式会社

超硬素材、プレス金型、モールド金型、粉末成型モールド、金型部品の製造及び販売

本社：〒584 大阪府富田林市寿町2-9-11 ☎0721(24)6121(代) FAX 0721(24)6113 営業所：川崎・大阪・福岡

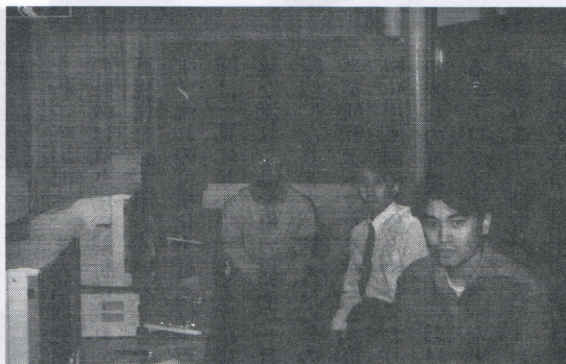
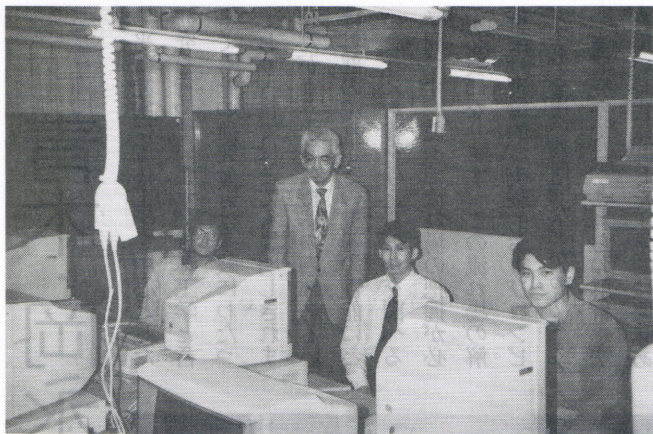
算研究室

当研究室は卒業生3名で多段軸流圧縮機の各段を担当して設計研究を行っています。

圧縮機はどのような構造になっているかを図面等で調べ、今まで教室の授業で得た知識との関係をはっきりさせ、頭の中で具体的な構造を作り上げて行きます。

ターボ機械の中を空気が流れ、どのようにして圧力比が増大してゆくのか計算を通じて理解し、翼の形状やひねり等を何回も計算を繰り返しながら図面に仕上げる訳です。

代々木校舎のコンピュータ機能が



変更してきているので、良い環境で設計の計算が可能で、新しいCADソフトも使用出来るので製図にも力を入れるつもりです。

計算の手段はパソコン(PC 9801)を用い、プログラム言語はフォートランやロータス1・2・3を使っていますが、今後は出来ればC言語も使って行きたいと思っています。

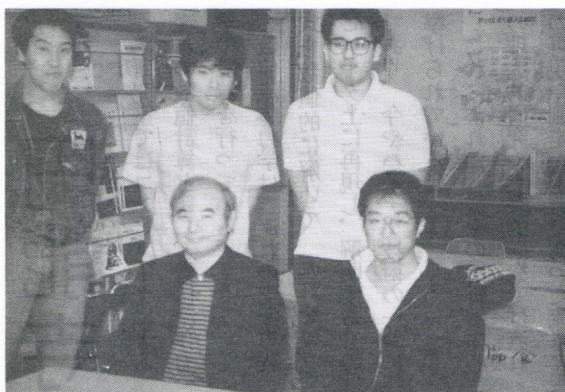
言語に馴れるのはそれに浸る時間が問題です。やる気さえあれば余り経験がなくても、初めは一寸大変ですが結構やれます。

機械力学・メカトロ工学部

石橋研究室

本研究室では卒業生は二組に分かれ、それぞれ異なった研究テーマを担当している。

その一つは高速ヒートシール法の開発である。袋状プラスチック容器の高速ヒートシールのためのコンピュータシミュレーションプログラムが卒業研究を通してできあがり、熱伝導・熱伝達現象を正確にシミュレートするに必要なデータを探る実験を進めている。現在、そのための実験装置の改良およびコンピュータ



による実験装置の制御法を勉強中である。

他のテーマは電磁力の応用に関する研究であり、電磁マグネットの吸引特性の解析を実験的に行ってきた。その特性がほぼ把握できたので、その延長として電磁マグネットを利用する磁気選別技術(磁選機)の開発に取りかかろうとしている。文献調査がほぼ終了し、磁選特性を把握するための実験装置を作成している。

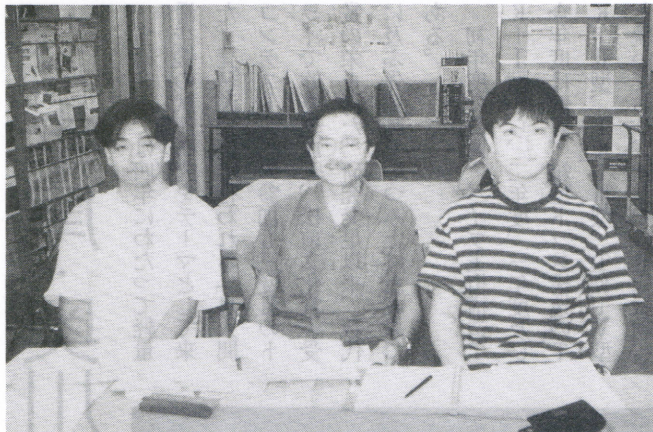


株式会社桂精機製作所

一炎に賭ける 技術を追求するガス機器総合メーカー

本社 〒231 横浜市中区尾上町1-8 TEL 045-651-5671 (代)

山梨工場 山梨県北巨摩郡須玉町 神奈川工場 神奈川県綾瀬市



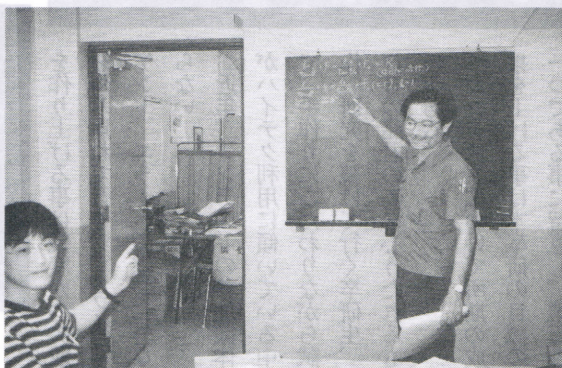
研究室



二階一室 機械 設計 工学 研究 会 友 会 報

鈴木(曠)研究室

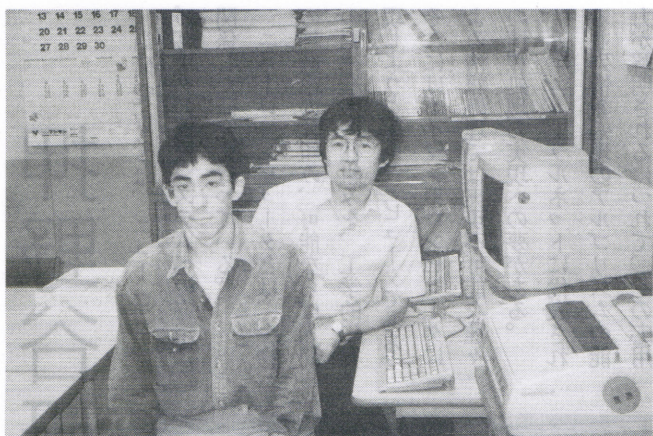
当研究室における卒業研究は、九十年代からスタートした。卒業研究のテーマは、機構学・機械力学をベースとする領域に設定される。車輛が定地旋回を含む小さな半径での旋回を行う場合、各輪のステア角を関連づける機構、およびその場合の車両の取り回し特性等について、コンピュータを用いたシミュレーションによって研究を行う。現在は、そのためのリンク機構の基礎的な分析を行っている。



川島研究室

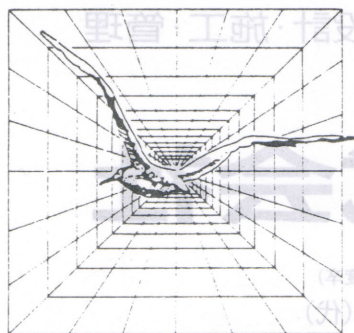
現在における工業解析の主流は有限要素法解析である。これにより複雑な形状をもつ対象に対しても容易に種々の現象の解析が可能になり、我々の設計能力は飛躍的に向上した。

有限要素法解析を行う際には対象を要素分割しなければならぬが、これには多大な労力がかかり、その結果は解の精度や収束性に大きな影響を与える。これまで多くの場合要素分割は人間の手によって行われてきたが、労力を低減させることと高精度の解を確実に得ることを目指し



研究室

て自動要素分割プログラムの開発が進んでいる。しかし、これまでのところ任意形状の対象に対してうまく適合するプログラムは開発されていないのが現状である。卒業研究は知識工学の手法を用いて完全な自動要素分割プログラムの開発ができないものか検討し、これを進めるものである。



教育機器・医療機器・医薬品のコンサルタント



東海教育産業株式会社

本社 神奈川県伊勢原市下粕屋164番地

〒259-11 TEL 0463-92-1881(代) FAX 0463-94-7402

営業所 東京・湘南・伊勢原・清水・沼津・大阪・九州・北海道

湘南営業所 秦野市南矢名一丁目5番13号 TEL 0463-78-5671

代表取締役 谷越安男

幸尾・奥川研究室

当研究室では四年にわたって軽量滑空機の試作研究をテーマとして来た。琵琶湖で例年行われる「鳥人間コンテスト」への参加も三度目のトライで昨夏達成し、松前文化賞 受賞の栄をえた。研究発足以来、数代に及ぶ先輩諸君のつみ上げた成果である。

初年度の高翼、パイプ主桁構造TK-I型から、二年度、三年度及び今年度は低翼、箱型トラス構造のTK-II型、TK-III型、TK-IV型と続いており、陸上での飛行試験、模型による風洞試験も終了した。物



地上飛行試験の後で、先輩、後輩と一緒に。
(於 羽田工業高校)

を作り上げる事は幾度かの失敗をつみ重ねて行く、「トライアンド エラー」の継続に外ならない。

近年、コンテストの参加機体がハイテク利用に傾いている中で、手作りにこだわらながら試作、研究を続けて行く卒研生、OBの諸君の姿に心うたれるものがある。

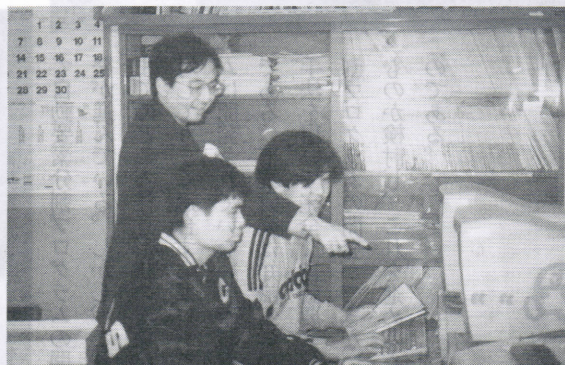
コンテストにおいて所期の成果を上げる事は本卒研の目標の一つである事に留意し、飛行性能の一その向上に努めて行きたい。

押野谷研究室

当研究室では、ニューロコンピュータの機械システムへの応用に関係した研究を行っている。

ニューロコンピュータとは、生物の神経系の仕組み、可能ならば人間の脳神経系の仕組みを、工学的に実現しようとするコンピュータである。そこにはノイマン型コンピュータによる情報処理では実現不可能な種々の情報処理の実現への夢がある。

近年ニューラルネットに代表される並列情報処理のアルゴリズムの能力が解明されるにつれて、その応用と新しい可能性の開拓の研究が様々



の技術分野で急速に進行している。機械力学・制御工学の分野においても、このニューロコンピュータ技術を適用することは新しい分野の開拓として重要なものであると考えられる。

そこで、磁気浮上制御や車両のアクティブサスペンション、またロボットアームなどを対象としてニューロコンピュータによる制御手法の構築を行い、他の制御方法との比較ならびに適応の可能性についてコンピュータシミュレーションによって検討を行っている。

ダクト消火システム・消防・防犯・防災設備販売・設計・施工・管理

安全を買って下さい

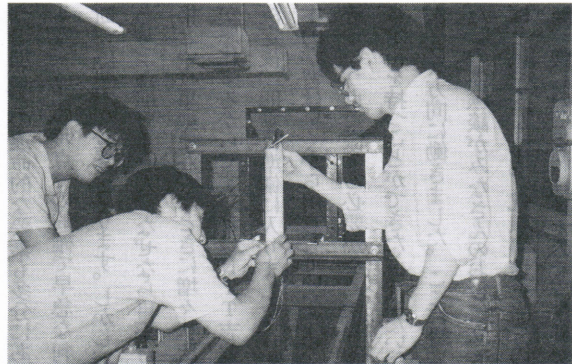
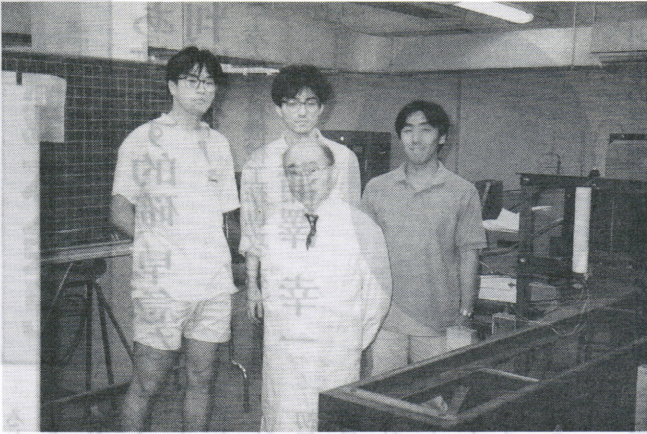
東亜電設株式会社

代表取締役 鈴木雅英 (工学部卒) 取締役 比企 武 (S46年度卒)

〒252 神奈川県藤沢市高倉679-4 TEL (0466) 45-5611(代)

市川研究室

流体力の作用によって起こる自励振動の一例である渦励振の実験を、昨年度に引き続いて行っている。渦励振は、柱状物体の風下に発生するカルマンの渦列によって起こされる振動で、ゴルフ・クラブの風きり音もその一例であるし、また発射台上のロケットの風による振動の原因にもなる。渦励振は、カルマンの渦列の振動数が物体の固有振動数と一致する風速の付近で起こるが、昨年度の実験では、通常の風速範囲のほかに、さらに高い風速でも振動の発生する風速範囲が見出された。本年



度は、実験の精度を高めるのと同時に、高いほうの風速範囲で振動が起こる原因の究明をも試みる。この振動は高調波を含んでいるので、振動をデータ・レコーダに記録して、パワ・スペクトル密度をとるなどの方法を採用する予定である。実験装置の面では、風洞の振動が模型に伝わらないようにするため、模型を固定するために枠組みを作成するなどの改良を行った。

事務室



現在、工学部動力機械工学科在学生と大学院在校生は湘南校舎第2工学科機械工学科在学生は代々木校舎籍である。

このように学科によって在籍校舎が異なるため、校舎ごとに学科事務室が設置されており、学科設立以来動力機械工学科と機械工学科は兄弟学科として、主任教授が統括され、副主任教授および教務委員が補佐しております。

湘南校舎事務室は、学科方針である、学生指導に力を入れるため、進路指導と学務等の業務に分け、

指導関係は十二号館一階、学務関係は六階で業務を遂行しております。

学科業務担当は

学務関係

平井、千葉、牧嶋
長谷川、小野寺
鈴木(孝)、小泉
宮田、野老山

進路指導

小野寺、鈴木(孝)
小泉、長谷川
平井、野老山

教育補助

平井、千場、牧嶋
長谷川、小野寺
鈴木(孝)、野老山

大学院関係 平井、宮田

機友会関係 平井

機友会会員の皆様、気軽に立寄られることを希望します。



EBARA

かけがえのない自然のために

社会生活環境を、トータルにプロデュース

エバラ

荏原環境エンジニアリング株式会社

EBARA ENVIRONMENTAL ENGINEERING CO., LTD.

〒108 東京都港区港南1-6-27 電話03-5461-6111

焼却プラントの設計・施工、各種環境改善施設の設計・施工および点検・整備

就職体験記

あせらず的確、早急な判断を！

(工学研究科機械工学専攻二年)

蒲澤 幸一



94年度の就職事情は予想通り昨年以上の厳しさでした。そういう状況を踏まえ、私は早くから就職意識を持ち、勉強などの準備に取りかかりました。勉強内容としては、専門、時事、一般常識、SPI、英語、研究内容などです。特にSPIは友人の購入したものを利用して3種類を最低各2回ずつ行いました。このテストは足切りに使われる可能性が十分に考えられるので馬鹿にすることなく高得点が取れるように反復練習することを薦めます。その他、新聞の読解などによる志望業界の動向や世間一般の動きについても注視して多くの知識を蓄積して下さい。

理系の方々は文系の人と異なり、推薦書というものを学校からいただくのですが、他大学の方々もいただいでく

るわけであり、条件は等しいことになります。そこで、みなさんは推薦書の力だけを頼りにするのではなく補助と考え、あくまでも自分の力でつかみ取るんだという気持ちで就職戦線に望んで下さい。

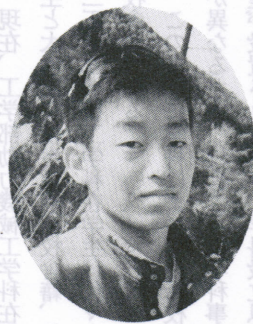
私が志望企業を決定したのは四月の中旬で、日立造船を志望しました。工場見学などの過程を経て、六月下旬に入社試験を受けました。成果は上々でほとんど大丈夫と自負していたところに不合格の通知が来ました。だからといって落ち込んでいる暇などはないということを十分に認識していたため通知の一時間後にはN T Tの追加募集の枠に応募していました。就職とはこういう追加などの運命的な要素も多分にあるので、その時点での的確で早急な判断、決断力が必要になります。しかし、あせつてはいけません。なぜなら再不合格という事態になったときに増々状況が悪化するからです。私はN T T志望決定後、即座に準備に入りました。基本的学習は早くから用意していたため、そういう点で慌てる必要がなく精神的に余裕を持つことができたことはたいへんプラス方向に働きました。ここに書いた私の体験談がみなさんのお役に立てばと思っています。就職事情は当分の間、厳しいと思われるので、今日からでも就職意識をしっかり持ち準備に取りかかってくれば幸いです。

就職体験記

読んで損する就職講座

(動力機械工学科四年)

安西 洋



就職活動の体験記を書いて欲しいと渡されたこの原稿用紙に何を書こうかと迷ったが、体験をそのまま書いたものはよく見かけるし、他人の体験を読んでも、その通りに活動するのが自分にあっているとは限らない。そこで、就職活動をする中で思ったことを、だいたいと書くことにした。

まず、就職活動の第一歩と言われる資料請求。まずは数を出した方がよいと思う。志望業種が定まらない人は当たり前。志望業種を決めてしまっている人も、自分はその業種だけ、などと言わずにどんどん出そう。世の中は、自分達が考えているよりも、もっともと広い。今、考えている業種よりも魅力を感じる。自分に合った業種がみつかるかもしれないのだ。次に、情報整理。資料請求をすれ

ばするほど、資料はたまる。これらをどんどん整理しないと、せつかくやうた資料請求は全くの無駄になってしまふ。会社案内は、すべて必ず目を通す。そして、魅力を感じるかどうかで、「興味あり」「興味なし」に分ける。ただし、このときその業種に興味があるかではなく、その会社で働く自分をイメージしてみたほうが良いと思う。

会社説明会。これも資料請求と同じで、たくさん参加しよう。しかし、これはその会社の説明を聞くためだけに行くのではない。社員を見ること、人事の話聞くことでその会社の雰囲気がよく分かるからだ。徹底的にその会社の良いところ、悪いところを、こちらから積極的に調べてやるつもりでいこう。

最後に、面接。人前で話すのが苦手な人は、どんな場でもよいので練習をしよう。一般常識を身につけたり、新聞を読んだりするよりも、自分の中にしっかりとした「職業観」「社会観」「労働観」「人生観」等をもつことが先。アルバイトを色々してもいいし、本を読むのも良いと思う。自分の場合、多くの世代の人と話をしてきたことが非常に役に立った。

最後に、自分だけのスタイルで就職活動がんばって。

〒108 東京都港区白金1-7-20

信友印刷株式会社

TEL 03-3444-2481・FAX 03-3444-2482

代表取締役社長 大矢 暁 (1978年度 動力機械卒)

